

放射線科

研修責任者 南口博紀

研修医へのメッセージ

放射線科の診療は①画像診断、②画像下治療(IVR)、③放射線治療の3つの柱から成り立っている。どの診療科においても単純 X 線、CT、MRI などの画像を見る機会があり、画像診断能力は医師として必須と考える。IVR はカテーテルを用いた低侵襲的治療で、IVR の適応疾患を知っておくことは医師として重要と考える。放射線治療は三次元照射と強度変調放射線治療(IMRT)の手法を用いて腫瘍を選択的に照射し、合併症や副作用を可能な限り低減する工夫をしている。いずれの分野でも種々の疾患と多数の症例を経験することが可能で、研修医として広く学ぶことができ、視野が広がると考える。また、中央部門として放射線技師や看護師との緊密な協力関係を形成する重要性にもより気付ける機会になると考える。

一般目標

1. 頭部、胸部、腹部、骨盤部領域において、頻度の高い疾患の画像診断を行うことができる。
2. カテーテルを用いた IVR の適応や禁忌を理解し、IVR の基本的な手技を行うことができる。
3. 三次元照射と IMRT を用いた悪性腫瘍に対する根治的治療理論を理解し、基本的な治療計画を立てることができる。

研修内容

1. 単純 X 線、CT、MRI などの利点と欠点を理解する。
2. 各種画像における正常解剖と正常像を理解する。
3. 主要疾患の画像所見を理解し、実際に主要疾患のレポートを作成する。
4. 造影剤の種類、適応、使用法を理解し、造影剤の副作用への対処法を学ぶ。
5. 実際に種々の IVR に参加し、基本的な手技を学ぶ。
6. 癌の標準治療に準じた三次元的放射線治療計画の作成を行う。

方略

(1) 指導体制

指導医 1 名を配属する。指導医を中心に上級医からも診断、検査、治療に関しての全般的な指導を受ける。研修医は希望があれば入院患者を受け持つ。

(2) 診療録記載、退院サマリー作成

研修医は患者診察後速やかに診療録を記載する。指導医・上級医はその内容を確認し、指導する。その際、問診・診察・検査の解釈についても合わせて指導する。身

体診察時、必要であれば、指導医・上級医が立ち会う。

(3) プレゼンテーション実施

研修医は教授回診や入院患者カンファレンス等でのプレゼンテーションを準備、実施する。指導医・上級医は事前に指導する。

(4) 各種オーダー実施

指導医・上級医は研修医の習得状況を確認し、指示、処方、注射、検査、病理、画像、食事、輸血などのオーダーを経験させる。その際、基本的治療法について理解できているか確認し、指導する。

(5) 血液検査結果説明・画像や病状説明実施

研修医は日々の検査結果を自身で解釈し、指導医・上級医とディスカッションの上、患者に説明する。また指導医・上級医は研修医の習得状況を確認し、患者への病状説明を経験させ、その内容についてフィードバックする。

(6) 各種手技実施

指導医・上級医は研修医の習得状況を確認し、各種手技を経験させる。造影ルート確保、アレルギー発生時の対応、血管造影での局所麻酔やシース・カテーテルの挿入など侵襲を伴う手技は指導医・上級医の監視下で実施する。

(7) 症例検討会 関西レントゲンカンファレンスの院内での検討会では症例を割り当て、プレゼンテーションを行う。指導医が補助する。

週間スケジュール

通常業務以外に下記のカンファレンスを行っている。

1. 画像カンファレンス（毎週 月曜 8:00-8:45）
2. 放射線治療カンファレンス（毎週 火曜、木曜 8:00-8:45）
3. IVR カンファレンス（毎週 金曜 8:00-8:45）
4. 入院患者カンファレンス、回診（毎週 水曜 8:30-8:45）
5. 乳がんキャンサーボード（最終月曜 18:00-18:30）
6. 頭頸部がんキャンサーボード（最終月曜 18:30-19:00）
7. 消化器がんキャンサーボード（毎週 水曜 18:30-19:30）
8. 婦人科カンファレンス（診断、治療 交互に月 1 回程度 水曜 18:00-19:00）
9. 肺がんキャンサーボード（第 1、3 木曜 18:00-19:00）
10. 腫瘍センター/希少がん/骨転移キャンサーボード（第 2、4 木曜 17:30-18:30）
11. 肝がんキャンサーボード（月 2 回 金曜 17:30-18:30）
12. 膵がんキャンサーボード（毎週 月曜 18:00-19:00）
13. スtentグラフトカンファレンス（第 1 月曜 18:00-19:00）
14. 冠動脈 CT カンファレンス（2 ヶ月毎 金曜 17:00-17:30）

月曜日	8:00-	画像カンファレンス
	8:45-17:30	読影業務(CT 室)、IVR(アンギオ室)、治療外来(1 階治療計画室)
	18:00-	乳がん、頭頸部がん、膵がん、stentグラフトカンファレンス
火曜日	8:00-	放射線治療カンファレンス
	8:45-17:30	読影業務(CT 室)、IVR(アンギオ室)、治療外来(1 階治療計画室)
水曜日	8:30-	入院患者カンファレンスと回診
	8:45-17:30	読影業務(CT 室)、IVR(アンギオ室)、治療外来(1 階治療計画室)
	18:30-	消化器がんキャンサーボード、婦人科カンファレンス
木曜日	8:00-	放射線治療カンファレンス
	8:45-17:30	読影業務(CT 室)、IVR(アンギオ室)、治療外来(1 階治療計画室)
	18:00-	肺がん、腫瘍センター/希少がん/骨転移キャンサーボード
金曜日	8:00-	IVR カンファレンス
	8:45-17:30	読影業務(CT 室)、IVR(アンギオ室)、治療外来(1 階治療計画室)
	17:30-	肝がんキャンサーボード、冠動脈 CT カンファレンス

勤務時間外のカンファレンスについては勤務時間変動制度などを用いて可能な限りの参加が望まれる。

評価方法

PG-EPOC を用い評価する。評価者は、指導医と診療科長・中放部技師長、看護師長などとする。

1) 知識

教授回診やカンファレンスにおいて、適宜放射線科疾患について質問を行い、知識の習得状況を評価する。

2) 技能

指導医、上級医立会いのもとで各種手技を実施し、習熟度を考慮した上で希望者には研修医単独で実施する機会を与え、技能の習得状況を評価する。

3) 態度

指導医、上級医、放射線技師、看護師、その他メディカルスタッフからも意見を聴取し、医師として相応しい態度かを評価する。